

令和 8 年 7 月 9 日

竹富町議会議長 殿

竹富町議会議員 大浜 一将

政務活動費収支報告書

竹富町議会政務活動費の交付に関する条例第 7 条第 1 項の規定により、政務活動費に係る収支について、下記のとおり報告します。

記

- 1 政務活動費の額 金 80,900 円
- 2 政務活動の期間 第 1 四半期（4 月から 6 月）
- 3 政務活動費の対象となる経費の内訳

項 目	金 額	備 考
調査研究費	72,900	交通費・宿泊費領収書番号①～⑦
研 修 費		
広 報 費		
広 聴 費	8,000	宿泊費領収書番号⑧
要請・陳情活動費		
会 議 費		
資料作成費		
資料購入費		
人 件 費		
事 務 所 費		
合 計	80,900	受領済額 0 円 累計 80,900 円

peach

発行日 2026/07/09
DATE OF ISSUE

領収書
RECEIPT

下記、正に領収いたしました。
This is to certify that Peach Aviation has received the following.

宛名
RECEIVED FROM

大浜一将

金額
THE SUM OF

¥ 19,900 (税込) inc

明細
FORM OF PAYMENT

2026/03/27 クレジット支払
Credit Card Payment

¥ 19,900

但し
IN PAYMENT OF

運賃及び料金・税金等として
(ただし、上記領収書には一部の保険料が含まれていない場合があります。含まれていない保険料の領収書をご入用の場合は、保険会社までご連絡ください。また、保険会社の連絡先は保険契約手続き完了後に届くメールをご覧ください。)
INCLUDING FARE, APPLICABLE CHARGES, TAXES, AND OTHER FEES
(However, the amount in the receipt may not include some insurance fee. For the receipt of insurance which is not included in the above amount, please contact to the insurance company. For the contact information, please refer to a thank-you mail from the insurance company.)

予約日時
BOOKING DATE

2026/03/27 (Fri)
05:53

備考
Remarks

金額
THE SUM OF

¥ 19,900 (税込) inc

消費税対象(10%)
Subject to consumption tax(10%)

¥ 19,900

うち、消費税
tax

¥ 1,809

peach

搭乗証明書
CERTIFICATE FOR BOARDING

1. お名前
NAME

OHAMA KAZUMASA 様

3. 搭乗日
DATE

2026年04月01日
April 01, 2026

4. 便名
FLIGHT

MM0294

5. 区間
PORTION

石垣(石垣) - 福岡(福岡)
Ishigaki - Fukuoka

上記の通り、ご搭乗いただきましたことを証明いたします。
This is the certify that the above information is true and correct.

Peach Aviation 株式会社
Peach Aviation Limited

領収証番号①

領収証番号①-1

peach

発行日 2026/07/09
DATE OF ISSUE

領収書
RECEIPT

下記、正に領収いたしました。
This is to certify that Peach Aviation has received the following.

宛名
RECEIVED FROM

大浜一将

金額
THE SUM OF

¥ 24,100 (税込) inc

明細
FORM OF PAYMENT

2026/03/29 クレジット支払
Credit Card Payment

¥ 24,100

但し
IN PAYMENT OF

運賃及び料金・税金等として
(ただし、上記領収書には一部の保険料が含まれていない場合があります。含まれていない保険料の領収書をご入用の場合は、保険会社までご連絡ください。また、保険会社の連絡先は保険契約手続き完了後に届くメールをご覧ください。)
INCLUDING FARE, APPLICABLE CHARGES, TAXES, AND OTHER FEES
(However, the amount in the receipt may not include some insurance fee. For the receipt of insurance which is not included in the above amount, please contact to the insurance company. For the contact information, please refer to a thank-you mail from the insurance company.)

予約日時
BOOKING DATE

2026/03/29 (Sun)
12:00

備考
Remarks

金額
THE SUM OF

¥ 24,100 (税込) inc

消費税対象(10%)
Subject to consumption tax(10%)

¥ 24,100

うち、消費税
tax

¥ 2,190

peach

搭乗証明書
CERTIFICATE FOR BOARDING

1. お名前
NAME

OHAMA KAZUMASA 様

3. 搭乗日
DATE

2026年04月03日
April 03, 2026

4. 便名
FLIGHT

MM0293

5. 区間
PORTION

福岡(福岡) - 石垣(石垣)
Fukuoka - Ishigaki

上記の通り、ご搭乗いただきましたことを証明いたします。
This is the certify that the above information is true and correct.

Peach Aviation 株式会社
Peach Aviation Limited

領収証番号②

領収証番号②-1

領収書

Rakuten Travel

発行日: 2026/7/9
発行日: 2026/7/9

大浜一将

様

支払金額	11,800 円
但し サービス利用代金等として	
■ 内訳	
クレジットカード決済金額	11,800 円
■ 課税対象	
10%対象	11,800 円
課税対象外	0 円
■ 利用内容	
宿泊者氏名	お名前を 必ず 入力
宿泊施設	ホテルグリオコート博多
宿泊施設住所	福岡県福岡市博多区博多駅中央街5-3
チェックイン日	2026/4/2
チェックアウト日	2026/4/3
宿泊人数	大人 1名

ご利用ありがとうございました。

楽天グループ株式会社

トラベルモビリティ事業
〒158-8504 東京都目黒区玉川1-14-1
楽天トラベルハウス
https://travel.rakuten.co.jp/
登録番号: TKG1070102092

領収証番号③

領収書

Rakuten Travel

発行日: 2026/7/9
発行日: 2026/7/9

大浜一将

様

支払金額	11,700 円
但し サービス利用代金等として	
■ 内訳	
クレジットカード決済金額	11,700 円
■ 課税対象	
10%対象	11,700 円
課税対象外	0 円
■ 利用内容	
宿泊者氏名	お名前を 必ず 入力
宿泊施設	アパホテル (博多区博多駅)
宿泊施設住所	福岡県福岡市博多区博多駅1-1
チェックイン日	2026/4/1
チェックアウト日	2026/4/2
宿泊人数	大人 1名

ご利用ありがとうございました。

楽天グループ株式会社

トラベルモビリティ事業
〒158-8504 東京都目黒区玉川1-14-1
楽天トラベルハウス
https://travel.rakuten.co.jp/
登録番号: TKG1070102092

領収証番号④

領収書

Receipt

大浜一将様

領収年月日 2026-4-2 登録番号: T1120001059675
金額 ¥3,460 (消費税等込み) 税10%

上記金額確かに領収いたしました

購入商品 JR乗車券類

(40816 1枚)

西日本旅客鉄道株式会社

博多駅MK962発行 50817-01

印紙税申告納
付につき大淀
税務署承認済

領収証番号⑤

領収書

大浜一将様

ご利用日付 2026年4月2日

時刻 15時40分

券番号: 07723

取引内容: 乗車券類 金600円

税率: 10%

事業者コード: T6200001012621

伝票番号: 12134

ご利用ありがとうございました。

発行駅: 博多駅

九州旅客鉄道株式会社

領収証番号⑥

2026 年 4 月 14 日

大漢一將 様

金額(税込10%) ¥ 1,340-

但し、石垣～竹富・小浜・黒島・大原・上原・鳩間 航路旅客運賃として
上記金額領収致しました。
内消費税 122 円



八重山観光フェリー株式会社

〒907-0012 沖縄県石垣市美崎町1
電話 (0980) 82-50

電話 (0980) 82-50

登録番号 T6360001013190

營 7.12.50,000 (500冊)

領収証番号⑦

領収証

大 浜 一 将 様

No.

金額

7	8	0	0	0
---	---	---	---	---

收入

紙 印

肉 訳

現金

小切手

手形

消費稅額等(%)

コクヨ ウケ-390

但

2 痛泊料 12

R8 年 4 月 25 日 上記正に領収いたしました
〒907-1542 沖縄県竹富町字西表2458

民宿ふなうき荘

代表 池田 卓

TEL 0980-85-7155

登録番号 T3810130855772

係印

領収証番号⑧

合併浄化槽未設置の家屋が多い竹富町における課題解決に向けた調査

シャボン玉石けん株式会社へのヒアリング

調査項目

福岡県宗像市地島「島まるごと実証実験」及び環境保全の取組について

調査先

シャボン玉石けん株式会社

調査目的

竹富町における海洋環境の保全と生活排水対策の可能性を検討するため、福岡県宗像市地島で実施された「島まるごと実証実験」の概要や成果、行政との連携手法についてヒアリングを実施した。

本実証実験は、シャボン玉石けん株式会社、宗像市、山口大学、一般財団法人九州環境管理協会の4者が連携し、島全体で無添加石けんを使用した場合の生活排水が環境へ与える影響を調査した全国的にも珍しい取組である。

ヒアリング内容

担当者からは、石けんは使用後に自然界の微生物によって分解されやすく、石けん成分そのものが微生物の餌となる性質を持つことから、生活排水による環境負荷の低減が期待できるとの説明を受けた。

また、生活排水の水質指標であるBOD（生物化学的酸素要求量）についても改善効果が期待できる可能性があるとの見解が示された。

一方で、水質悪化の大きな要因は洗剤よりも家庭から流される食用油など油脂類であるとの説明があり、例えば500mL程度の油を流すと、その影響を浄化するためには浴槽約200杯分の水が必要になるとの例が紹介された。

さらに、一般家庭で使用される合成樹脂製スポンジは使用に伴いマイクロプラスチックを

発生させるため、海洋プラスチック問題の一因となっているとの説明も受けた。
合成洗剤に含まれる界面活性剤については、環境中へ流出した後も一定期間残留する性質があり、海洋生態系への影響についてもある旨の説明があった。

宗像市との連携について

実証実験が成功した大きな要因として、宗像市が全面的に協力したことが挙げられた。

宗像市では環境政策の一環として「宗像国際環境会議」を継続開催しており、市、企業、大学、市民が一体となって海洋環境保全へ取り組む土壌が形成されている。シャボン玉石けん株式会社も実行委員会へ参画し、長年にわたり連携を続けている。

また、北海道厚岸町では環境対策として石けん購入への補助制度が実施されている事例についても紹介があった。

担当者からは、行政と共同で実証実験を実施したことにより、企業としても社会的信用やブランド価値の向上につながったとの説明があり、行政と企業双方にメリットがある取組であることが確認できた。

竹富町への応用可能性

竹富町においても、人口規模が比較的小さい白浜地区や古見地区などは実証実験の対象として実施しやすいとの助言を受けた。

特に、

- 排水の流出経路が把握しやすい地区
- 調査範囲を限定できる地域
- 合併処理浄化槽の普及状況などが把握できる地区

であれば、効果検証が比較的行いやすいとのことであった。

今後は、白浜地区や古見地区などをモデル地区として実証実験の可能性を検討するとともに、浄化槽の整備状況や生活排水の実態についても調査を進める必要があると感じた。

所感

今回の調査を通じ、生活排水対策は単に洗剤を変更するだけではなく、家庭から流される油脂類の削減やマイクロプラスチック対策などを含めた総合的な取組が重要であることを再認識した。

また、宗像市のように行政・企業・大学・市民が連携して実証実験を進めることで、科学的根拠に基づく政策立案が可能になることも大きな成果であると感じた。

竹富町においても、小規模離島という特性を生かしたモデル事業として実施できる可能性があり、海洋環境の保全と住民意識の向上を両立する施策として研究を進める価値があると考ええる。

福岡県宗像市へのヒアリング

調査項目

福岡県宗像市地島「島まるごと実証実験」の実施経緯及び地域への波及効果について

調査先

福岡県宗像市

調査目的

竹富町における生活排水対策や海洋環境保全の取組を検討するため、福岡県宗像市地島で実施された「島まるごと実証実験」について、事業開始の経緯や地域への影響、行政の役割などについてヒアリングを実施した。

ヒアリング内容

事業開始の背景として、地島の住民には「自分たちの島の環境は自分たちで守りたい」という意識が強くあったとの説明を受けた。

島では漁業従事者が多く、海が生活の基盤であることから、海洋環境の保全に対する関心が高かったという。また、地元特産品であるワカメのブランド価値向上にも関心があり、「良い環境で育ったワカメ」という地域の誇りを高めることも取組の目的の一つとなっていた。

また、地島には離島留学施設があり、留学生の中にはアトピー症状の改善が見られた事例もあったことから、自然環境の良さを島の魅力として発信することにもつながったとの説明があった。

地域への波及効果

実証実験をきっかけに、地域住民の環境意識にも変化が見られた。

漁業者が自主的にビーチクリーン活動へ参加するようになったほか、学校現場からも環境学習を充実させたいという声上がるなど、子どもから大人まで環境問題について考える機会が増えたという。

さらに、実証実験終了後も「石けんを使い続けたい」という島民の声が多く寄せられ、一時的な取組ではなく、地域に定着する活動へと発展したことが紹介された。

行政・企業・地域の連携

本事業は行政と企業が連携したことで大きな相乗効果が生まれたとの説明を受けた。

企業とのマッチングが進み、新たな連携のきっかけとなったほか、全国各地から取組を評価する連絡や問い合わせが寄せられ、新聞・テレビなどメディアからの取材依頼も増加したという。

一方で、住民への石けん購入補助制度については検討されたものの、継続的な財源確保が課題となり実施には至らなかったとの説明があった。

竹富町への応用可能性

今回のヒアリングでは、環境保全は行政だけで進めるものではなく、地域住民、とりわけ子どもたちが主体的に考え、行動することが重要であるとの意見が印象的であった。

竹富町においても、生活排水がそのまま海へ流れる地域が存在することから、子どもたちが自分たちの海や川の現状を学び、「どうすれば良い環境を次世代へ残せるか」を地域全体で考える取組は大きな意義があると感じた。

また、小中学校での環境学習やビーチクリーン活動、地域住民・事業者・行政が連携した実証事業などを組み合わせることで、環境保全だけでなく地域への誇りや郷土愛の醸成にもつながる可能性があると考えた。

所感

今回の調査を通じ、地島の取組が成功した要因は、単に石けんを切り替えたことではなく、「自分たちの島を守りたい」という住民の思いを行政が支え、企業や学校も巻き込みながら地域全体で取り組んだことにあったと感じた。

環境保全は行政施策として進めるだけでなく、地域住民が主体となり、子どもたちも参加

できる仕組みづくりが重要である。

竹富町においても、島ごとの特性を生かしながら、小規模離島ならではの実証事業や環境教育を組み合わせることで、地域の魅力向上や海洋環境保全につながる取組を検討する価値があると考ええる。

持続可能な小売店に向けた制度構築の話し合い

日時：令和8年4月14日

内容：小売店支援及び共同仕入れ等について

協議内容

1. 小売店支援について

役場担当者から、1年間にわたり輸送費等を全額補助することは財政的に難しいとの説明があった。そのため、補助額については、各店舗の港からの距離を基準として設定する方向で検討しているとの考えが示された。

また、支援を実施するにあたっては、各小売店による共同仕入れを進めることが望ましいとの意見があった。

2. 共同仕入れの進捗状況

共同仕入れについては実現が難しく、進展は見込めない状況であるとの説明があった。

一方で、1店舗が商品の取りまとめを行い、代金の支払いについても一括して取り扱う方法を検討しているとの報告があった。

3. 輸送体制について

役場担当から、当面は地域おこし協力隊が石垣島の大手スーパーから港までの輸送を担う予定であるとの説明があった。

予算については、まず陸上輸送費に活用し、並行して石垣島の大手スーパーからの効率的な輸送方法について検討を進める方針である。

将来的には、地域おこし協力隊を活用した輸送体制を中心とした仕組みへ移行していきたいとの考えが示された。

所管

島の小売店が強くなることで、住民サービスは向上する。しかし石垣島のスーパーとの価格差が大きい。そこを仕組みを構築し島の小売店の物価が少しでも下げていけるようにする必要がある。そのために今後も役場との調整や共同仕入れに向けて大型スーパーさんとの協議を継続していく必要がある。

政務活動報告 竹富町議会議員 大浜一将
令和8年7月9日

船浮住民との意見交換会

日時：令和8年4月24日

内容：船浮地区における地域課題等について

協議内容

1. 交通（民間船会社）

民間船会社のバスについて、現在は車検が通らない状況である。

また、町が貸切バスを利用する場合の運行への影響を懸念する声や、以前運行されていた西部地区限定のバス運行についても話題となった。

路線バスを1～2便増便しつつ貸切にも対応することや、船会社でバス運行が難しい場合には、バス事業者が接続輸送まで担う仕組みも検討してはどうかとの提案があった。

2. 物流支援

物流については、鳩間島でも同様の課題があるとの意見があった。

竹富島では住民グループによる買い物代行サービスが実施されている事例が紹介され、「ヤマネコ宅配」の配送サービスについて町の広報誌等で周知してほしいとの要望があった。

また、福祉の観点から物流費への支援制度を検討できないかとの意見があった。

3. 介護・高齢者支援

船浮地区には訪問介護サービスがあり、介護ヘルパーが12時から15時頃まで訪問しているとの説明があった。

一方で、高齢者向けの「100歳体操」はまだ実施されておらず、地区内の70歳以上の住民は14名であるとの報告があった。

4. スマートフォン教室

スマートフォン教室について、町から積極的に開催を提案してほしいとの要望があった。

また、町公式LINEの登録状況や活用についても話題となった。

5. 里親制度

里親制度について、制度の周知をさらに進める必要があるとの意見があった。

あわせて、里親制度に関するアンケート結果について情報提供を求める声があった。

6. 地産地消・防災

地元で生産された米を積極的に活用したいとの意見があった。

また、防災用備蓄庫の整備や、自主防災組織の活動費を活用した防災対策についても提案があった。

所管

船浮地区では自分たちで出来ることはやるという形ができていた。その中で特に必要なことが意見として出てきた印象。それでも船浮地区は若手が少なくいろいろ厳しい状況であるとの共有もあった。仕事を作ることが大事だと感じた。船浮には住民利用以上の大きな貯水タンクがある事と船浮の水はおいしいとのことなので、「船浮の水」としての販売を進めていけたら船浮地区の活性化につながるかなと感じた。